



平成27年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年12月12日

上場会社名 株式会社 ナイガイ
 コード番号 8013 URL <http://www.naigai.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部門担当
 四半期報告書提出予定日 平成26年12月15日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 泉 潔
 (氏名) 市原 聡

TEL 03-5822-3810

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年1月期第3四半期の連結業績(平成26年2月1日～平成26年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年1月期第3四半期	12,371	1.3	△130	—	△20	—	△48	—
26年1月期第3四半期	12,213	△0.5	△201	—	△137	—	△151	—

(注) 包括利益 27年1月期第3四半期 43百万円 (△88.9%) 26年1月期第3四半期 389百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年1月期第3四半期	△0.59	—
26年1月期第3四半期	△1.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年1月期第3四半期	14,216	8,397	58.8	101.84
26年1月期	13,404	8,354	62.1	101.37

(参考) 自己資本 27年1月期第3四半期 8,365百万円 26年1月期 8,327百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年1月期	—	—	—	0.00	0.00
27年1月期	—	—	—	—	—
27年1月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年1月期の連結業績予想(平成26年2月1日～平成27年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	2.7	50	—	50	△49.1	20	△75.1	0.24

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年1月期3Q	82,172,815 株	26年1月期	82,172,815 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年1月期3Q	28,651 株	26年1月期	18,178 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年1月期3Q	82,149,418 株	26年1月期3Q	82,135,024 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後、様々な要因によって予想値と異なる場合があります。業績予想に関しましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、消費税増税前の駆け込み需要の反動減による個人消費の落ち込みに加えて、実質所得の低下や、急激な円安による原材料費の高騰を受けて、企業収益が不安定な状況となっていること等を背景に、伸び悩む状況が続いています。

衣料品業界におきましては、8月下旬からの気温の低下に伴って秋物が昨年より早く動き出したことで店頭販売がやや持ち直したものの、台風が相次いで接近、上陸するなど不安定な天候の影響があり前年実績には届かず、消費税増税後のマインド低迷や調達コスト上昇といった逆風が続いており、依然厳しい状況です。

こうした中、当社グループは、第2四半期に引き続きまして、レグウェアのジャストシーズン商品の販売強化、メンズアンダーウェアの販売強化、ネット通販事業の拡大など、増収、増益に向けた取組みを進めてまいりました。

卸売り事業につきましては、店頭販売が総じて堅調に推移して前年実績を上回り、プロパー販売比率が高まったことで利益率が改善し増益となりました。

通信販売事業は、概ね計画通りの販売と利益を確保し、前年同期に対して増収増益となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、12,371百万円（前年同期比1.3%増）、営業損失は130百万円（前年同期比70百万円の増益）、経常損失は20百万円（前年同期比117百万円の増益）、四半期純損失は48百万円（前年同期比103百万円の増益）となりました。

セグメント別の業績概要は以下の通りです。

(卸売り事業)

卸売り事業の主体であるレグウェア事業では、百貨店・専門店販路は、気温の低下に合わせて単価の高い防寒ソックス、タイツ、ルームソックスが昨年よりも早く動き出し、紳士、婦人ソックスの店頭販売が前年実績を大きく上回っており、それに伴いプロパー販売比率が高まったことで利益率が改善し、増益となりました。メンズアンダーウェアは、展開店舗及び展開スペースの増加により店頭販売が順調に推移しました。

量販店販路につきましては、店頭販売はやや厳しい状況ですが、展開商品の品揃えが計画通りに進んだことで売上、利益共に順調に推移しています。

その他卸売り事業は、株式会社NAP（量販店向け紳士カジュアルシャツ販売）が、苦戦を強いられたものの、ロンデックス（ゴム製品関連の製造販売）は、ゴム糸の原料が安値で安定したことと、生産量UPに伴うコスト削減により増収増益となりました。OEM、輸出、海外子会社の事業については概ね前年並みの売上となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の卸売り事業全体の売上高は、10,022百万円（前年同期比0.1%増）、営業損失は147百万円（前年同期比62百万円の増益）となりました。

(通信販売事業)

通信販売事業につきましては、株式会社ナイガイ・イムが、テレビショッピングの番組数が前年から増加となり、商品原価率の改善と経費削減に努めた結果、前年を上回る実績となりました。

インターネットショッピングを展開するセンチーレワン株式会社は、販促活動の効果で上期から引続き売上が好調に推移しており、経費削減にも努めた結果、引続き増収増益となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の通信販売事業全体の売上高は、2,542百万円（前年同期比4.3%増）、営業利益は21百万円（前年同期比146.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に対して812百万円増加し、14,216百万円となりました。流動資産では、現金及び預金が339百万円、商品及び製品が853百万円増加し、受取手形及び売掛金が296百万円減少しました。固定資産では、投資有価証券が時価の上昇により92百万円増加しました。

負債は、前連結会計年度末に対して769百万円増加し、5,819百万円となりました。支払手形及び買掛金と電子記録債務が672百万円、借入金が多岐合わせて143百万円増加しました。

純資産につきましては、四半期純損失48百万円とその他の有価証券評価差額金の増加73百万円等により、前連結会計年度末に対して42百万円増加し、8,397百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ3.3ポイント減少し、58.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年1月期通期の業績予想につきましては、平成26年3月14日に公表いたしました業績予想から、本資料公表時点での変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,653	2,993
受取手形及び売掛金	3,614	3,317
商品及び製品	3,207	4,060
仕掛品	13	9
原材料及び貯蔵品	74	77
その他	339	238
貸倒引当金	△35	△30
流動資産合計	9,867	10,667
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	43	37
土地	74	78
その他(純額)	122	105
有形固定資産合計	240	221
無形固定資産		
	334	275
投資その他の資産		
投資有価証券	2,746	2,838
その他	247	245
貸倒引当金	△32	△32
投資その他の資産合計	2,961	3,051
固定資産合計	3,536	3,549
資産合計	13,404	14,216

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	816	1,233
電子記録債務	901	1,156
短期借入金	694	817
未払法人税等	34	25
賞与引当金	22	78
返品調整引当金	337	244
その他	595	524
流動負債合計	3,401	4,081
固定負債		
長期借入金	300	320
退職給付引当金	1,048	1,072
繰延税金負債	265	310
その他	34	34
固定負債合計	1,648	1,737
負債合計	5,050	5,819
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,691	7,691
資本剰余金	6,781	6,781
利益剰余金	△6,900	△6,949
自己株式	△1	△2
株主資本合計	7,570	7,521
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	663	737
為替換算調整勘定	93	106
その他の包括利益累計額合計	756	844
少数株主持分	26	31
純資産合計	8,354	8,397
負債純資産合計	13,404	14,216

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年10月31日)
売上高	12,213	12,371
売上原価	8,026	8,173
売上総利益	4,186	4,197
販売費及び一般管理費	4,387	4,328
営業損失(△)	△201	△130
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	22	23
為替差益	87	101
その他	19	35
営業外収益合計	130	161
営業外費用		
支払利息	22	17
持分法による投資損失	38	22
その他	6	11
営業外費用合計	67	51
経常損失(△)	△137	△20
特別損失		
投資有価証券評価損	-	4
特別損失合計	-	4
税金等調整前四半期純損失(△)	△137	△24
法人税、住民税及び事業税	22	25
法人税等調整額	△10	△5
法人税等合計	11	20
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△149	△44
少数株主利益	2	3
四半期純損失(△)	△151	△48

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年2月1日 至 平成25年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年2月1日 至 平成26年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△149	△44
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	418	69
為替換算調整勘定	62	14
持分法適用会社に対する持分相当額	57	4
その他の包括利益合計	538	88
四半期包括利益	389	43
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	383	38
少数株主に係る四半期包括利益	5	4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年2月1日至平成25年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	卸売り事業	通信販売 事業			
売上高					
外部顧客への売上高	9,774	2,438	12,213	—	12,213
セグメント間の内部売上高又は 振替高	235	—	235	△235	—
計	10,010	2,438	12,448	△235	12,213
セグメント利益又は損失(△)	△209	8	△200	△0	△201

(注) 1. 調整額はセグメント間の取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年2月1日至平成26年10月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	卸売り事業	通信販売 事業			
売上高					
外部顧客への売上高	9,832	2,538	12,371	—	12,371
セグメント間の内部売上高又は 振替高	189	4	193	△193	—
計	10,022	2,542	12,564	△193	12,371
セグメント利益又は損失(△)	△147	21	△125	△5	△130

(注) 1. 調整額はセグメント間の取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。